

# IDEA

# 通信

第47号 夏号



原発事故で節電求められています。我が家でも微力ながら心がけています。通年は、窓にすだれをかけるだけでしたが今年は丈の長いものを用意し、ベランダ手摺の外側まで覆っています。こうすると。ベランダ自体の温度があまり上がりず、室温上昇もおさえられ、意外と過ごしやすくなりました。

**高橋です** またグリーンカーテンをはじめの方も多いと聞きます。

息子が通う桂台小学校でも6月位からプランターでゴーヤを育て始め、今では1階の窓を覆いつくさんばかりに成長しています。良く見ると立派な実も付け、子どもたちは収穫も楽しみではないかなと思います。

「我が家でもやろうか！」なんて言われましたが、グリーンカーテンは賛成！でも食べるのは強要しないでネと念を押す



## 節電2011

働く女性315名に聞いてみました。  
震災後、自分の生活で変わった事は？

- 第1位／「節電をするようになった」……67.0%
- 第2位／「ニュースをこまめに見るようになった」…39.0%
- 第3位／「ボランティアや募金に参加している」……23.8%
- 第4位／「防災グッズをそろえた」……23.5%
- 第5位／「遊びに行くを控えている」……12.7%
- 第6位／「家具を固定した・部屋を整頓した」……11.4%
- 第7位／「浴槽のお湯を常にためている」……7.6%
- 第8位／「近所の人とよく話すようになった」……2.2%
- 第9位／「住む場所を変えた」……0.9%
- 第9位／「地震保険に加入した」……0.9%

上記のアンケート結果の通り、今夏は節電に励んでいるかと思いますが、実際、住まいができる主な節電対策に期待できる節電量はどのくらいか？調べてみました。

対 策	効 果
照明をこまめに消す(白熱電球3つ)	162w
テレビをこまめに消す	220w
使用していない家電製品のコンセントを抜く	6w
エアコン2台の設定温度を2°C上げる	52w
使用するエアコンの数を減らす	130w
白熱電球を省エネ型に交換する (白熱電球3つを蛍光灯に交換する)	126w
(資料:野村総研)	合 計
	696w

照明の白熱電球を3つ蛍光灯に交換すると126W、交換しなくても、こまめに消灯することで162Wの節電効果が見込めます。また、エアコンでは、設定温度を上げるよりも使用台数を減らすほうが節電対策には効果的です。家族との絆が見直される今、一つの部屋で過ごす時間が増えるとお互いのコミュニケーションが図れます。なんだか昭和初期に戻った感じですね。

この表を見ると-15%削減は達成できそうな感じです。毎月の電気量明細を見ながら、ゲーム感覚で実行すると楽しいと思いますよ。

## INFORMATION

### 【耐震セミナーのお知らせ】

また今回のような地震がきても我が家は大丈夫！と言い切れますか？日常生活の中から出てくる不満や要望を改善するための工事も必要ですが、まずは**建物のバランス・耐久性**です。テレビでご存知の通り避難所生活はとても過酷です。ご家族を守るためにもこのセミナーでは皆さん気が知つておけば「耐震に関する情報と適正な知識を提供していきます。

是非ご参加下さい。(事前予約をお願いします。)

日程：2010年9月10日(土)

場所：グランボア会議室/元コロラド上階

時間：10:00～12:00

費用：無料

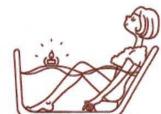
★ 図面持参の方：家のバランスがわかる診断評点結果を無料で差し上げます。

### 【ほてった体を冷やすクールダウン浴】

今の時期、お風呂にゆっくりかかるより、シャワーで汗を流している方が多いと思います。ほてった体を放置しておくと、不眠・食欲減退・夏バテなど体調不良を引き起こす原因になります。そこで体温より少し低い33～34°Cのお湯で半身浴を20～30分してみましょう。これをしてみると入浴後の不快な汗も噴出さず長時間快適に過ごせます！

これは低温シャワーより効果的です。

夏の疲れが出るこの時期、たまにはお湯をはってリラックスしてみましょう。



**IDEA** 株式会社イデア <http://www.y-idea.co.jp>

横浜市栄区桂台南1-9-1グランボア2F

メール [info@y-idea.co.jp](mailto:info@y-idea.co.jp)

お問い合わせ電話 0120-39-3992

※イデア通信は、今までに工事をした方、資料請求いただいた方、イベントにご参加いただいた方を対象に配布をしています。  
(旧社名:新栄美装のお客様も対象としています)

# いま最も興味のあるもの

震災後、原発事故を受けて私たちの生活が変わろうとしています。特に今後の中でも特に心の高い下記を選んで調べてみました。自然の力などを利用して発電された電力は、二酸化炭素の排出がほとんどなく海外からの資源に頼らず発電できるという2つの大きな利点を併せ持っています。

## 太陽光発電

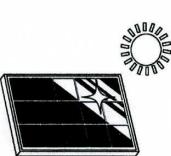
震災後、最も注目度の高い太陽光発電。

神奈川県知事は太陽光発電を家庭に

普及させようと今年度は助成件数を

大幅に増やす政策をとっています。そのかいあってか、横浜市では8/3現在、太陽光発電の申請件数は今年度枠2,000件に対して1,716件です。震災と原発事故を経験した私たちだからこそ心の高さを感じ取れます。

また23年度は余剰電力の売電価格が¥42/kwh(10年間)と高く、費用対効果が良くなったのも要因の1つだと思います。



助成金	Kwあたり	上限
国	4.8万円	47.9万円
神奈川県	1.5万円	5.2万円
横浜市	3万円	11.2万円
合計 9.3万円/kw (8/3現在申請件数 1,716件/2,000件)		

非常時(日中)の電源としては最大1500wまで使用可能で、消費電力の低いものを中心に可動されれば日中10時間前後電力を確保できます。実際今回の災害時に有効でしたし、心理的にも安心感がありました。(設置者の声)

### ●身近な太陽光発電(㈱太陽工房)

今後、突発的な停電に備えて、ベランダで太陽光発電ができる充電機も出てきています。

下記のパネルは高76cm×横53cmの大きさで、ベランダの手摺等に吊るせる簡易型です。

価格は¥64,500～¥76,800

ノートパソコン4～12時間

使用可能な蓄電ができます。

停電時の補助電源は基より

日常・防災・レジャーと活

躍の場が期待できます。

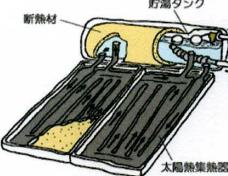


## 太陽熱システム

光を集めて発電をする太陽光発電に対し、太陽熱を集熱してお湯作る太陽熱システム。

実は太陽光に比べて4～5倍のエネルギーを作り出し、設置コストもお手ごろなのがこの太陽熱システムです。

家庭エネルギー代の1/3が給湯なので、太陽熱を使うと光熱費が激減します。また、温水を貯めておくので断水などの時でもお湯が使えます。

助成金	自然循環型	強制循環型
横浜市	4万円	8万円
昔から使われているもっとも簡単な太陽熱利用機器です。屋根の上に下記を設置してお湯を沸かすものです。貯湯量200～250リットル、集熱器の面積3～4m <sup>2</sup> のものが多くなっています。		集熱器を屋根に乗せ、太陽熱で集熱器が一定の温度に達すると蓄熱槽にお湯を蓄えます。貯湯量300リットル集熱器の面積6m <sup>2</sup> （集熱器3枚）のものが多くなっています。
 		
メリット	システム自体はお手ごろだが、屋根への加重負荷が大きい。	
デメリット	家に負荷なく設置は可能だが、自然循環型に比べてシステムのコストは大きい。 しかし、給湯のほかに暖房熱源として利用ができる。	

ガソリンの供給不足からパニック買いに走る傾向があちこちで見られました。過去の災害例から電気は復旧が一番早く、期待ができます。今回のような計画停電になった場合、車に蓄電された電気を使用することも可能です。

ガソリンスタンドに比べればまだ充電スタンドは少ないですが、現在、各市町村で1ヶ所以上の設置はできています。

お子さんのお迎え・お買い物等町乗りでしたら十分な走行距離があります。

国+自治体の助成も充実していますので、次車の検討はいかがですか？

## 電気自動車

助成金	普通乗用車	助成申請件数
国	72～100万円	
神奈川県	37～50万円	91/700台
横浜市	15万円	今年度終了

※すべて車種グレードによって助成額が変動します。

助成金申請は数々の条件があります。

電気自動車は重量税+取得税=¥0です。（重量税H24.4/30まで、取得税H24.3/31まで）

### ちなみに三菱i-MiEV(M)の場合

・助成金 約100万円(国+県+市)

・自宅フル充電 100Vで～16時間

200Vで4.5～7時間

・充電スタンド 急速充電で80%/30分

・走行距離 120～180km

